

第18回将軍山祭の御案内

マ ぱくらの創造哲学

テ — 眠っていた可能性を求めて —

10月31日(水)

○デモンストレーション
12:00 ~ 16:30

場所 国鉄および阪急茨木駅周辺地域

目的 本学における大学祭の情宣活動

内容 吹奏楽団によるパレード
9:30 ~ 16:00

11月1日(木)

○体育祭
9:30 ~ 16:00

11月2日(金)

○デモンストレーションと仮装行列
と募金活動
10:30 ~ 16:30

場所 国鉄および阪急茨木駅周辺と本学周辺地域

目的 本学における大学祭の情宣活動

内容 吹奏楽団と仮装行列によるパレード及び両駅での募金活動

○路上寄席
日時 11月2・3・4日
10:00 ~ 16:00

主催 落語研究部
場所 本学キャンパス

○体育会バザー
日時 11月2・3・4日
10:00 ~ 17:00

○第2回校友会将軍山会杯ソフトボーラー大会
日時 11月2・3日(予備日4日)
10:00 ~ 17:00

主催 体育会本部
場所 本学第1駐車場

○文化会野菜売り
日時 11月2・3・4日
10:00 ~ 16:00

主催 文化会本部
場所 1号館前

○素人拳法大会
日時 11月2・3・4日
10:00 ~ 16:00

主催 日本拳法部
場所 大学体育館第3体育室

○素人柔道大会
日時 11月2・3・4日
10:00 ~ 14:00

主催 柔道部
場所 本学体育館第2体育室

○映画上映
日時 11月2・3・4日
15:30 ~ 16:30

主催 映画研究会シネマクリエイター
場所 学生会館大ホール

○学長杯テニストーナメント
日時 11月2・3・4日
9:00 ~ 18:00

○B-H-P
(Beautiful-Holiday-Plan)
主催 社会福祉同好会
場所 本学キャンパス
ウンド

主催 落語研究部
場所 本学キャンパス

主催 体育会バザー
場所 本学キャンパス

主催 第2回校友会将軍山会杯ソフトボーラー大会
場所 本学キャンパス

主催 体育会本部
場所 本学第1駐車場

主催 文化会野菜売り
場所 1号館前

主催 素人拳法大会
場所 大学体育館第3体育室

主催 素人柔道大会
場所 1号館前

主催 柔道部
場所 本学体育館第2体育室

主催 映画上映
場所 学生会館大ホール

主催 映画研究会シネマクリエイター
場所 学生会館大ホール

主催 学長杯テニストーナメント
場所 本学日本文化研修道場

主催 将軍山祭茶会
場所 2号館前

主催 報道会放送局
場所 2号館前

○B-H-P
(Beautiful-Holiday-Plan)
主催 超大型ケーリ立食パーティ
内 容 イーゲーム、ジャズダンス
場所 本学体育館
主催 レクリエーション研究会
内 容 ダンスパーティ
場所 本学キャンパス
主催 軽音楽部
内 容 ワンド

主催 落語研究部
内 容 超大型ケーリ立食パーティ
場所 本学キャンパス

主催 体育会バザー
内 容 ダンスパーティ
場所 本学キャンパス

主催 第2回校友会将軍山会杯ソフトボーラー大会
内 容 ダンスパーティ
場所 本学キャンパス

主催 体育会本部
内 容 ダンスパーティ
場所 本学キャンパス

主催 文化会野菜売り
内 容 ダンスパーティ
場所 本学キャンパス

主催 素人拳法大会
内 容 ダンスパーティ
場所 本学キャンパス

主催 素人柔道大会
内 容 ダンスパーティ
場所 本学キャンパス

主催 柔道部
内 容 ダンスパーティ
場所 本学キャンパス

主催 映画上映
内 容 ダンスパーティ
場所 本学キャンパス

主催 映画研究会シネマクリエイター
内 容 ダンスパーティ
場所 本学キャンパス

主催 学長杯テニストーナメント
内 容 ダンスパーティ
場所 本学日本文化研修道場

主催 将軍山祭茶会
内 容 ダンスパーティ
場所 2号館前

主催 報道会放送局
内 容 ダンスパーティ
場所 2号館前

○B-H-P
(Beautiful-Holiday-Plan)
主催 超大型ケーリ立食パーティ
内 容 イーゲーム、ジャズダンス
場所 本学体育館
主催 レクリエーション研究会
内 容 ダンスパーティ
場所 本学キャンパス
主催 軽音楽部
内 容 ワンド

主催 落語研究部
内 容 ダンスパーティ
場所 本学キャンパス

主催 体育会バザー
内 容 ダンスパーティ
場所 本学キャンパス

主催 第2回校友会将軍山会杯ソフトボーラー大会
内 容 ダンスパーティ
場所 本学キャンパス

主催 体育会本部
内 容 ダンスパーティ
場所 本学キャンパス

主催 文化会野菜売り
内 容 ダンスパーティ
場所 本学キャンパス

主催 素人拳法大会
内 容 ダンスパーティ
場所 本学キャンパス

主催 素人柔道大会
内 容 ダンスパーティ
場所 本学キャンパス

主催 柔道部
内 容 ダンスパーティ
場所 本学キャンパス

主催 映画上映
内 容 ダンスパーティ
場所 本学キャンパス

主催 映画研究会シネマクリエイター
内 容 ダンスパーティ
場所 本学キャンパス

主催 学長杯テニストーナメント
内 容 ダンスパーティ
場所 本学日本文化研修道場

主催 将軍山祭茶会
内 容 ダンスパーティ
場所 2号館前

主催 報道会放送局
内 容 ダンスパーティ
場所 2号館前

○B-H-P
(Beautiful-Holiday-Plan)



本会独立に係る

諸問題の御報告

本会は、本年4月1日、山桜会と分離し、大学校校友会として独立しました。しかしその後も山桜会からの不当な圧力は続きました。この間、本会が受けた傷を、消し去ることはできそうにもありません。ここに、その経緯を簡略にご報告いたします。

現行の山桜会執行部を認めない
山桜会との問題
報の通りの経緯をたどり、協議を続けてきました。本年1月28日の山桜会理事会において選出された山桜会新執行部が協議に加わってから、山桜会の対応は不誠実極まりないものとなりました。本会が分離・独立を作成しました。本会が分離・独立を作成した本年2月18日からは何にかにつけて挑発的になつてきました。

山桜会の新執行部は、本会が名簿を管理依託している凸版印刷㈱に対しても不當な圧力をかけ、本会が正当に所有する大学卒業生のデーターテープの使用をストップさせたり、会報の発行や諸データーの訂正が出来ないようにしたりして、本会に分離・独立をさせないよう、卑劣な工作をしてきました。

また、本年6月の学校法人の役員改選にからんでも、本会が正当適式に所有する学校法人役員選出の権利

をないがしろにし、山桜会がひとりで對処しております。しかし山桜会の変化はなく、都合が悪くなると黙ってしまいます。本会はこれからも強力に対決していく所存です。また凸版印刷㈱や追手門学院との間であります。両者ともに本会とは密接な関係にあるので次項の通り誠意を持って対応しております。

本会は凸版印刷㈱に対して弁護士を通じて抗議を行いましたが、凸版印刷㈱の態度も長年将軍山会の業務を代行しているにもかかわらず「本社は山桜会と契約をしており、山桜会の仕事はしたことがない」と理解に苦しむ回答をしてきました。本会は再三、厳重に抗議し、協議の結果、本年7月に、通常通り業務を再開するとともに、58年から準備をてきた、会員名簿マスターapeの分離も完了いたしました。

これにより、今後山桜会が不当に圧力をかける意味もなくなり、本会

純粹に学院、校友を考える本会としては、本年4月1日をもって山桜会と分離したことは良策であり、山桜会が現行の執行部で運営されることは出来ません。

会員名簿磁気テープを分離

凸版印刷㈱との問題

報発送等を依頼している会社であ

り、信頼関係にありましたが、本会

が分離・独立を表明した本年2月、

山桜会長が本会の業務を妨害する

目的で圧力をかけ、会報の発送、会

員データー訂正登録がストップし、

多大な被害を受け、本会と凸版印刷

㈱との信頼関係もつぶされてしま

ました。

本会は凸版印刷㈱に対して弁護士

を通じて抗議を行いましたが、凸版

印刷㈱の態度も長年将軍山会の業

務を代行しているにもかかわらず

自らの会員管理が可能となり、より充実した会報発送、データー訂正等が出来るようになりました。

今後の事業について協議

本会は、本年4月1日の分離・独

立するに際し、追手門学院関係者に

対し個々に文書を送って表明しま

した。しかし、学院当局からは何らの

問い合わせもありませんでした。

本会は、本年4月1日の役員選出につい

て適式正當な権利を主張するため、

学校法人の理事・評議員改選に先立

ち、学院理事長にお会いしてその

旨を伝え、了解をいただきました。

本会はその了解をもとに、文書を

もって学院当局へ通知、本会選出の

学校法人評議員名簿を提出しました

が、学院事務局がそれを不当に無視

し、学院理事会に計らないばかり

か、本会の正当な権利を無視して、

山桜会から選出された者のみを役員

としていました。

本会は、本会の権利を主張するた

め、二名の理事の方にお願いをし、

問題の解決と関係の修復を図つてい

ただきました。

住所変更その他のお知らせはぜひハガキで

本会役員候補者推薦

昭和60年度～昭和63年度
お願い

◎新役員選出の手順は
1、大学校友会将軍山会正会員
(大学卒業者と大学院修了者)
の中から、各学部・各卒業年度
・各クラス・ゼミの幹事や世話
役の方を、また、ぜひ共、この
人をという会員の方々の、
候補者には、クラブ、同好会
などの会員(OB)の中から、
御推薦されても差支えありません
。

△必ず、同封の推薦用紙を
使い、同封の封筒に入れて、
お送り下さい。恐れ入ります
が60円切手をお貼り下さい。

2、推薦を受けた会員の方々の、
氏名・出身学部・卒業年次等を

◎役員(評議員)候補の御推薦は
1、前掲のとおり、同封の推薦用
紙と封筒をお使い下さり

5、以上、新役員が決定したら、
次々号の本会報に掲載して、会
員各位にお知らせ致します。

4、新理事会を開き、常任理事と
会長を選出します。

3、次いで、新評議員会を開き、
会則に従い理事を選出します。

2、お送り下さるとき、必ず、
60円切手をお貼り下さい。

1、お送り下さるとき、必ず、
60円切手をお貼り下さい。

△御注意
被推薦者——役員候補者——が、
万一、本会終身会費未納者であった
場合は無効とさせていただきます。

△在校友会事務局移転△
大学1号館3階の西端北側の所
移転しています。電話の内線番号も
四五一番に変わりました。お知らせ

下さい。
△所定の原稿紙をお送り下さい。
また、所定の原稿紙をお尋ね
下さい。どうぞお寄せ下さい。

△校友会事務局にお尋ね

下さい。

△校友会事務局にお尋ね

下さい。

△校友会事務局にお尋ね

下さい。

△校友会事務局にお尋ね

下さい。

△校友会事務局にお尋ね

下さい。

△校友会事務局にお尋ね

下さい。

められた終身会費を保管保持しています。
昭和六〇年三月末日現在・約一億円あります。

五、大学卒業生と大学院修了生は、本会に終身会費を納入されれば充分で、山桜会に支払う必要はありません。

六、本会は、今後、大学卒業生と大学院修了生の校友会として、従前どおり、本会の会報『將軍山会報』を行し、本会会員の名簿を完備します。

また、校友の交流を盛んにするための計画と組織をつくり、大学と校友との密接な関係を維持します。

七、山桜会の主張（山桜会報第39号）は、一切認められません。

將軍山会の基本綱要



特集号・保存版

一、追手門学院大学校友会将軍山会（以下の文中では、
本会といふ）と追手門学院校友会山桜会（山桜会とい
ふ）は、それぞれ独立した会であります。

二、本会独立の効力が発生した時期は、昭和五九年四月
一日であります。その手続は、前年の五八年十月三〇

本会成立の歴史

昭和51年11月、大学開学10周年の記念式典の日に発行された『十年記念誌』に、本会成立の歴史が記されています。今、その概要を転載するところになります。

昭和45年、第一回卒業生は調査票に大学卒業生だけの同窓会を作りたいと意志表示し、同窓会結成準備委員会を、昭和46年1月に発足させて同年5月30日、結成大会を開き、会則を承認して、この日、現在の大学校友会将軍山会は誕生したのであります。

本会会員のみなさん。会員の方々の中には、山桜会報第39号が送られてきて、また、その中味を御読みになつて疑問を抱いたのではないかと思います。本会役員は早速集つて、どうすべきかを考えました。広報担当者が草案を書き、本会常任理事会が草案をもとにして修正し、原稿を作成。昨年から御相談し、御世話ねがつてある弁護士に原稿をお見せして助言をいただきここに、会員のみなさんに本報をお届けすることにいたしました。本会役員の半数は、追手門学院小・中・高校を卒業していますが、彼等は大学卒業の役員以上に、より激怒している状態です。どうか最後まで、お読み下さい。また、ご質問があれば封書嚴封の上、おきかせ下さい。

山桜会との関連

対して、校友会将軍山会への理解を
求めました。50年6月22日、本会は
学友会と学生部とで三者協定書をつ
くり相互に存在と活動を尊重しつつ
協調し、大学発展のために寄与しよ

うと約束しました。
そして、この時から、本会終身費を、卒業時に納入してもらうことができるようになったのです。

山桜会との関連

50年頃は、山桜会は独自に終身会費の請求を大学卒業生に対して行っていました。大学卒業生は、二つの同窓会費を支払うことを不満として学生部に善処方を申込んでいましたし、山桜会終身会費を山桜会には納入しない状態でした。

山桜会は、本会役員を、山桜会の理事・評議員に迎え、そのかわりに

リポート

少林寺拳法部

(岡田能敬会長) より各団体の枠を越えて、ともに親睦を計ろうという趣旨で「体育会OB連合親睦会」を開催したいという提案がされておりましたが、一月の各団体代表者定例会におきまして、賛成多数で可決され今秋開催の予定で準備を進めることに決定いたしました。

又、二月の定例会におきまして本親睦会の実行委員長に、岡田氏を全員一致で選任し、準備に当つて頂くことになりました。

当連合では毎月第二土曜日の夜八

新設の大学というイメージを持つて15年前に入学した追大も気がついてみると早や「開学20周年」という会報の記事を目にし、まだまだ若者と思っている自分が社会の中堅どころになって来ていることに気がつき、戸惑いを感じているこのごろであります。

三

新設の大学というイメージを持つ
15年前に入学した追大も気がつい
みると早や「開学20周年」という
報の記事を目にし、まだまだ若者
思っている自分が社会の中堅どこ
になって来ていることに気がつ
、戸惑いを感じてはいるこのごろで
ります。

しまっていいるという感じであり、ますます購入等も追大OBのところでやつてしまします。私がしている小さな商売のアルバイト募集も追大生でなければ気がすみません。

この様な私の目から見ると、卒業をしたあと、追大が自分の母校であることをまるで忘れてしまったかの様な方々が——体育会や文化会等で大変活躍された方々の中にも——おられます。このことは私にとって理解していくものであります。

出身大学を忘れてしまう——と、大変な損失だと思います。例え

だと思います。
それぞれ学んだ年代は違つても、
同じ大学を卒業した者同志の追大フ
アミリーの輪が、あちらこちらでど
んどん広がつて行くということは何
と素晴らしいことではありませんか。
開学30周年、50周年を迎える頃に
はどの様な追大ファミリーが出来て
いるかと考えていると大変楽しみに
なつて来ます。
もつともつと夢や考えがあるので
すが、今日はこれだけにしておきま
す。
皆さん、この私の夢と考え方、ど
う思われますか。

個人情報の観点から、この縮刷版には掲載しておりません。

各発展させて行ってもらいたいもの
アミリーの輪が、あちらこちらでど
んどん広がって行くということは何
と素晴らしいことではありませんか。
開学30周年、50周年を迎える頃に
はどの様な追大アミリーが出来て
いるかと考えていると大変楽しみに
なって来ます。
もっともと夢や考えがあるので
すが、今日はこれだけにしておきま
す。
皆さん、この私の夢と考え方、ど
う思われますか。

それぞれ学んだ年代は違つても、
同じ大学を卒業した者同志の追大ア
ミリーの輪が、あちらこちらでど
んどん広がって行くということは何
と素晴らしいことではありませんか。
開学30周年、50周年を迎える頃に
はどの様な追大アミリーが出来て
いるかと考えていると大変楽しみに
なって来ます。

昭和51年11月、大学開学10周年の
記念式典の日に発行された『十年記
念誌』に、本会成立の歴史が記され
ています。今、その概要を転載する
ことにします。

昭和45年、第一回卒業生は調査票
に大学卒業生だけの同窓会を作りた
いと意志表示し、同窓会結成準備委
員会を、昭和46年1月に発足させ
同年5月30日、結成大会を開き、会
則を承認して、この日、現在の大学
校友会将軍山会は誕生したのであり
ます。

49年6月20日に第3回総会を開く
際、当時、沈滞ムードだった山桜会
を刷新しようと呼びかけ、大阪ロイ
ヤルホテルで両会が共催し総会と親
睦会を催すことができました。

その後、本会内部で、会運営上の
対立が生じ、本会の役員中ただ一人
が残留し、事務所を大阪市内に移し

て、再興への努力を続けましたが、一年足らずの間に、経済的な行詰りを生じてしまいました。

50年5月1日、新しく選出された役員によって、経済的・経営的危機を乗り切ることが決議され、早速、実行し始めました。

その第一は、役員で管理していた会計を大学事務局会計課に委託し、学校会計に準じて行ってもらうようにしたことになります。（2頁の将

軍山会会計事務についての申し合せ
事項参照）

本会会員のみなさん。会員の方々の中には、山桜会報第39号が送られてきて、また、その中味を御読みになつて疑問を抱かれたのではないかと思います。本会役員は早速集つて、どうすべきかを考えました。広報担当者が草案を書き、本会常任理事会が草案をもとにして修正し、原稿を作成。昨年から御相談し、御世話ねがつてある弁護士に原稿をお見せして助言をいただきここに、会員のみなさんと本報をお届けすることにいたしました。本会役員の半数は、追手門学院小・中・高校を卒業していますが、彼等は大学卒業の役員以上に、より激怒している状態です。どうか最後まで、お読み下さい。また、ご質問があれば封書嚴封の上、おきかせ下さい。

對して、校友会将軍山会への理解を求めました。50年6月22日、本会は学友会と学生部とで三者協定書をつくり相互に存在と活動を尊重しつつ協調し、大学発展のために寄与しようと約束しました。

そして、この時から、本会終身会費を、卒業時に納入してもらうことができるようになったのです。

山桜会との関連

50年頃は、山桜会は独自に終身会費の請求を大学卒業生に対して行っていました。大学卒業生は、二つの同窓会費を支払うことを不満として学生部に善処方を申込んでいましたし、山桜会終身会費を山桜会には納入しない状態でした。

山桜会は、本会役員を、山桜会の理事・評議員に迎え、そのかわりに

テイ費の三分の二は、本会が負担したのです。三分の一は、出席者が払った当日の会費です。

山桜会の教育奨励費は、小学校・中学校・高校が対象で、大学の分は夏季休暇も冬や春の休みも休まずに、授業の合間も遊ばず、時には夜遅くまで、カードの整理や校正作業を続けたのは、総て大学在学生だったときいています。

その後も、57年度末まで、作業を

昭和53年度の役員改選その他の特

本会の会運営の姿勢

本会は、昭和50年5月1日、再建に向って再発足した時から、会員の方々が納入された終身会費は、少くとも50年は預りするのだから、会の運営は、お預りした終身会費の利息で運営している。そこで基金を貯めようと、確く申し合せてきました。

一方的に 五十万円返還か？

本会は、昭和50年5月1日、再建に向って再発足した時から、会員の方々が納入された終身会費は、少くとも50年は預りするのだから、会の運営は、お預りした終身会費の利息で運営している。そこで基金を貯めようと、確く申し合せてきました。

将軍山会消費収支決算書

自昭和58年4月1日
至昭和59年3月31日 (単位 円)

科 目	予 算	決 算	差 異
(収入の部)			
会 费 取 得 利 息 入	16,750,000	16,830,000	△80,000
雜 収 入	3,000,000	5,746,941	△2,746,941
収 入 の 部 合 計	19,750,000	22,576,941	△2,826,941
(支出の部)			
*一 般 経 費			
会 報 費	720,000	710,000	10,000
印 刷 費	400,000	300,700	99,300
山 桜 会 報 印 刷 分 担 金	500,000	0	500,000
そ 通 交 消 会 慶	700,000	594,600	105,400
大 学 畢 業 生 分	2,500,000	1,492,930	1,007,070
大 学 畢 業 生 分	150,000	61,800	88,200
卒 大 学 畢 業 生 分	100,000	49,960	50,040
卒 大 学 畢 業 生 分	200,000	142,045	57,955
卒 大 学 畢 業 生 分	50,000	15,720	34,280
卒 大 学 畢 業 生 分	150,000	157,200	△7,200
卒 大 学 畢 業 生 分	100,000	100,000	0
大 学 畢 業 行 事 参 加 費	200,000	307,900	△107,900
支 部 助 成 金	100,000	0	100,000
雜 費	0	51,052	△51,052
新 入 会 員 登 錄 費	180,000	149,755	30,245
住 所・業 種 別 變 更 登 錄 費	120,000	31,230	88,770
*將軍山会基金繰入	0	2,221,112	△2,221,112
*將軍山会基金Ⅰ繰入	0	10,000,000	△10,000,000
支 出 の 部 合 計	6,170,000	16,386,004	△10,216,004
当 年 度 消 費 収 入 超 過 額	13,580,000	6,190,937	7,389,063
前 期 線 越 消 費 収 入 超 過 額	12,554,045	12,554,045	0
次 期 線 越 消 費 収 入 超 過 額	26,134,045	18,744,982	7,389,063

名簿発行は誰の手で

山桜会は、過去、昭和51年度と55年度の二回、凸版印刷から名簿を出しています。

51年度の名簿は一年半余かってあります。この名簿作成の時から、コンピューター処理を始めたからであります。

55年度は、51年度の名簿の訂正と年度毎の新会員の登録を含め、大変な仕事だったと思います。

夏季休暇も冬や春の休みも休まずに、授業の合間も遊ばず、時には夜遅くまで、カードの整理や校正作業を続けたのは、総て大学在学生だったときいています。

その後も、57年度末まで、作業を

51年度の終身会費を、本会が代理徴収するよう依頼してきました。

山桜会報第39号の5頁に掲載されている「お願い」状がそれです。

その中に「学友会・連合委員会と将軍山会および山桜会との合意によつて決まり」とあります、学友会や連合委員会とは本会が協定書を作成し、また、本会と山桜会との間に終身会費の徴収代行をしてもらよいとする合意があったので、山桜会は終身会費の徴収代行をしてもらよいとする合意があったので、山桜会は終身会費を、学友会や連合委員会との間に、何の約束も取付けてはいないのです。

その頃の学生部と学友会に、終身会費を二万円として、山桜会に終身会費徴収を独自にさせないようにする、ということを了解してもらったのです。

将军山会会計事務についての申し合せ事項

追手門学院大学事務局と将軍山会の間で、表記の件について、次のように申し合せをしました。

なお、この件について、将軍山会では昭和50年5月1日の理事会にて、全会一致で承認されております。

1. 追手門学院大学事務局会計課において、昭和50年度卒業の第6期生よりの終身会費を、後期授業料と共に徴収する。
2. 将軍山会終身会費の取引銀行は大学の取引している店舗とし、将軍山会の口座をそれぞれに設ける。

大和銀行茨木西支店

住友銀行茨木支店

三和銀行茨木西支店

3. 当分の間、資金の保管管理に関する事務に限り、引き受けるものとし、会費収納に関する台帳等の管理は、大学会計課では行わない。

4. 資金の払出しは、次の条件を完備したものに限り、大学会計課はその事務を扱うものとする。

①将軍山会の会計責任者の承認のあること

②予算の範囲内であること

③使用目的が明確であること

④証票書類(納品書・請求書・領収書等)が完備していること

5. 予算の変更は、将軍山会会則の定める機関で決議されたことを証する書類によって確認する。

6. 帳票類は、将軍山会終身会費納付済の会員に公開することを原則とする。ただし、当分の間、身分確認のため、将軍山会顧問・常任理事會議長の証明又は卒業証明書類等の提示を求めることがある。

以上、後日のため、大学事務局と将軍山会相方により確認します。

昭和50年5月22日

大阪府茨木市安威230番地

学 長 天野 利武

事務局長 浅野 清重

会計課長 川端 芳弘

追手門学院大学将軍山会

常任理事會議長 鶴 肇

(以下の常任理事氏名を略す)

山桜会の終身会費を、本会が代理徴収するよう依頼してきました。

ここに付け加えておきますが、山桜会と会の運営の仕方につき意見衝突が起きて、その結果、山桜会終身会費を預り金として保留し、山桜会の会費の徴収代行をしないと伝えてから、大学卒業生の登録は本会が

していったのは大学在学生です。ここで付け加えておきますが、山桜会の運営の仕方につき意見衝突が起きて、その結果、山桜会終身会費を預り金として保留し、山桜会の会費の徴収代行をしないと伝えてから、大学卒業生の登録は本会が

していません。返送されただいた郵便物の山を振り分けて、移転先を追跡していくます。一日に何十通と電話をかけて追いかけました。

費用を支払って、凸版印刷に作業させています。登録作業の費用を支払った側に、著作権同様の権利があると思えるのに、山桜会は、時には、その使用を妨害し、また、山桜会報第39号の発送には、何の断りもなくそのコードを使っているのです。

かならず、大学卒業生の登録は本会が

していません。返送されただいた郵便物の山を振り分けて、移転先を追跡していくます。一日に何十通と電話をかけて追いかけました。

大学で、心良く協力して下さったのが

都度、心良く協力して下さったのが

た。

大学の電話交換の方々でした。

本会の名簿原簿も、山桜会のそれ

記入し訂正し、校正し整理していたのです。

それだけではありません。返送さ

れただいた郵便物の山を振り分けて、

移転先を追跡していくます。一日に

何十通と電話をかけて追いかけまし

た。

時に五十九回も電話をします。その

都度、心良く協力して下さったのが

た。

大学の電話交換の方々でした。

本会の名簿原簿も、山桜会のそれ

記入し訂正し、校正し整理していたのです。

在学生が名簿発行の実務を行つたか

を知つてほしいのです。

安いアルバイト料でした。それで

も年毎の新しい会員のカード、小学

生のもの中学生のもの、高校生の分をも

成し遂げたものなのです。

の基本的認識において誤解があり、ひいては山桜会の構成に関し、重大な感違いをしておられるのではないかと存じ、あえて返信申し上げる次第です。

敬　具

昭和五九年五月一三日
大阪市東区京橋前之町一一番地
追手門学院校友会山桜会
会長　牟田実
茨木市西安威二丁目一番一五号
追手門学院大学校友会
将軍山会
会長　関謙二殿
大坂市北区西天満六丁目七番四
号　大阪弁護士ビル八〇七号
將軍山会代理人
弁護士　大江篤彌殿

()

回 答 書

前略、貴会の昭和五九年五月二三日付の通知書に対し御回答申し上げます。

当将軍山会が昭和五九年四月一日に独立分離したのは追手門学院大学卒業生の校友会の運営を完全に独自の立場で行いたいとの趣旨からです。これは、構成員の数も貴会とは著しく異なり、校友各人と学校との間柄も著しい差異があることによるもので。それを一つの団体として何時までも運営することは無理で、将軍山会の将来の発展を著しく阻害するものです。

よって、将軍山会の運営を從

前よりより一層独自に行うこととなつたものです。
従つて、会の財産として貴会と共有するものについては共同して独自に利用する立場を有するものです。それ故、貴会会長の同意を得てデーターファイルを利用するという必要はあります。
取敢えず右趣旨を御説明します。

本会の校友会活動

名足らずの新会員が生れる小・中高 校とは、会員数の伸びや差は、比較 なりません。	(3)	第29号	追手門学院校友会山桜会報	昭和54年7月20日
	昭和53年度 山桜会会計決算			
経常費	(53.4.1~54.3.31)			
(収入の部)	(予 算)	(決 算)		
前期繰越金	1,989,017	1,989,017		
終身会費収入	9,500,000	11,150,000	大学 6,550,000 茨木 2,230,000 大手前 1,070,000 小学校 1,300,000	
預金利子	20,000	13,518	住友茨木 11,401 大和茨木西 2,117	
総会等会費収入	2,100,000	664,000	理事会 46,000 総会 188,500 総会将軍山会分担金 429,500	
雑 収 入	0	1,432	一時借入金利の一部返還金	

(3) 第 29 号

追手門学院校友会山桜会報

昭和54年7月20日

昭和53年度 山 桜 会 会 計 決 算			
(53.4.1~54.3.31)			
経 常 費 〔収入の部〕	(予 算)	(決 算)	
前期 繰越金	1,989,017	1,989,017	
終身会費収入	9,500,000	11,150,000	大学 6,550,000 茨木 2,230,000 大手前 1,070,000 小学校 1,300,000
預金利子	20,000	13,518	住友茨木 11,401 大和茨木西 2,117
総会等会費収入	2,100,000	664,000	理事会 46,000 総会 188,500 総会将軍山会分担金 429,500
雑 収 入	0	1,432	一時借入金金利の一部返還金
合 計	13,609,017	13,817,967	
〔支出の部〕	(予 算)	(決 算)	
会報発行費	4,500,000	4,595,780	26号 224,000 27号 379,140 28号 270,000 印刷代 発送料 郵送料
総 会 費	3,000,000	1,384,390	376,200 357,440 229,000 印刷代 総会費 917,160 913,260 929,580 通信費 181,440 パーティ 459,500(註1)
教育奨励費	400,000	177,760	茨木 70,000 証書筒 107,760(未払分 113,400) (註2)
支部運営費	150,000	150,000	東京山桜会
役員会費	250,000	250,050	6回分食費 218,940 印刷代 31,110 (註3)
事務費	500,000	461,340	封筒類 335,740 印刷代 12,490 文具 700
人件費	350,000	382,600	アルバイト代
通信費	100,000	159,580	役員会案内 61,390 終身会費案内・職種調査 98,190
備品費	300,000	90,000	会旗二流
交通出張費	100,000	60,000	東京山桜会出張2名
予備費 雑費	400,000	367,715	供花料 30,000(8名) 一時借入金金利 67,715 永年勤続退職者記念品料 270,000
基金繰込金	1,000,000	0	
小 計	11,050,000	8,079,215	
次期 繰越金	2,559,017	5,738,752	住友茨木 1,925,757 大和茨木西 3,812,995
合 計	13,609,017	13,817,967	

昭和60年3月30日

それらをお読み下さって、果して会費未納が不調和の原因なのか、御判断いただきたいと存じます。なお、前述いたしました「運営費の相違」も考えていただきたいと思ひます。

なお、本会会報第26号2頁の一項

通 知 書

前略、貴会益々御清栄の段お慶び申し上げます。

さて、先般采再々御説明して來たとおり、従前追手門学院の大学卒業生、高校卒業生、中学卒業生、小学校卒業生を一つの校友会として追手門学院校友会山櫻会がありましたが、昭和五九年四月一日をもつて右卒業生のうち大学卒業生の校友会を右山櫻会から分離独立し、大学卒業生に限り従前からの称号に従い追手門学院大学校友会将軍山会と称する校友会を発足させました。会長は大学一期生卒業生の関謙一が従前通り現在も勤めています。右のとおり大学卒業生のみの校友会を独立発足させるについては、各校友の意見を聞き適式に手続を経由しています。

右のとおりこの度大学卒業生のみを会員とする校友会である将軍山会が成立しましたので、従前山櫻会と一体となり凸版印刷株式会社にお願いしていまし

弁護士をたてて対処しております」と書いています。その実際を、三通りの内容証明をここに掲載し、会員の方々の御判断の資料としていただきたいと思います。

右代理人弁護士 大江篤彌
大阪市東区京橋前之町二番地 追手門学院校友会・山櫻会
会長 犬田実殿 御通知 拝復、五九年五月一五日付貴書簡落掌しました。
ご承知のとおり、追手門学院校友会山桜会の会則によれば、本会は、追手門学院小・中・高・大学の各卒業生ひとりひとりによって構成されており、同期会や特定部会の集合体ではありません。
通常、母校の卒業生がいわば、運命的な縁で結ばれている
昭和53年度の決算書のうち 左に掲げてある消費収支計算書の中 支出の部の△その他印刷費と通信交通費▽は、終身会費未納会員への請求のための印刷物送

昭和53年度決算書について

度決算書について		のものが同窓会であり、追手門学院校友会山桜会もまた、同様であります。	
人 件 費		会員の身分は、卒業と同時に自動的に確定し、本会が存続する限り継続し、主義主張を超えて無条件に保証されております。何人たりともこれを阻害したり変更することは出来ません。	
会 報 費	333,750	会員身分の終結は、死亡によってのみ発生するものであります。	
印 刷 費	144,980	將軍山会の個々の会員は、同時に山桜会の会員であります。	
その他の印刷費	288,600	一方、その集団としての將軍山会は節約してやると受取利息だけで会	
通 信・交 通 費	699,000	山桜会は山桜会の大学部会たる位置付けを有するもので、会員そ	
消 耗 品 費	28,200	付にかかる費用です。	
会 廉 費	39,830	もし、終身会費未納の会員への請求作業に消費することが少くなければ	
卒 業 記 念 品 費	9,490	将軍山	
雑 費	105,000	が運営されるようになれるのも、そう日	
予 備 費	(注1) 116,168	時のかかることではないと考えられま	
將軍山会基金繰入	0	す。	
特 別 経 費	5,290,487	全体として、貴殿の主張には、同窓会といふものについて	
役員改選通信費	251,200	は、同窓会長の同意を得た上で、本会会長の同意を得た上	
印刷代	187,000	で、従来通り存分にご活用いただき、校友会活動の発展に役立てて下されば、結構かと存じます。	
総 会 通 信 費	236,840	ま、本会が所有管理し、凸版印刷株式会社に預託しているデータファイルの使用について	
印 刷 費	161,180	は、本会会長の同意を得た上で、本会会長の同意を得た上	
雑 費	429,500	で、従来通り存分にご活用いただき、校友会活動の発展に役立てて下されば、結構かと存じます。	
支 出 の 部 合 計	8,321,225	ま、本会が所有管理し、凸版印刷株式会社に預託しているデータファイルの使用について	
当 年 度 消 費 収 入 超 過 額	1,534,519	は、本会会長の同意を得た上で、本会会長の同意を得た上	
前 年 度 繰 越 消 費 収 入 超 過 額	1,017,542	で、従来通り存分にご活用いただき、校友会活動の発展に役立てて下されば、結構かと存じます。	
次 年 度 繰 越 消 費 収 入 超 過 額	2,552,061	ま、本会が所有管理し、凸版印刷株式会社に預託しているデータファイルの使用について	

○山桜会との不調和	長として再選され、本会と山桜会との不調和は消滅するだろうと思われたのでした。
山桜会の予算案作成時や正副会長会議には、本会役員が参画することになっていました。しかし昭和56年頃までその事実もなく、山桜会は不誠実ということで、本会は56年12月から山桜会執行部と関係修復について話し合いをはじめました。	57年2月20日「今後は将軍山会の意見を尊重する」約束を取り付けましたが、57年度予算案作成に本会は参加できませんでした。
本会は改めて会報22号に掲載した申し入れを山桜会会长に送付し、何回も協議を重ね、58年早々、再び「将軍山会の意向を汲む」とのお考えを山本会長よりききました。	57年2月20日「今後は将軍山会の意見を尊重する」約束を取り付けましたが、57年度予算案作成に本会は参加できませんでした。
山本会長は、58年6月、山桜会会长	山本会長を再選した山桜会は、二週間後、不信任案を突きつけ、一部の会員が会長代行を選出する交代劇を演じてしまいました。本会はひとり「蚊帳」の外に置かれていましたが、昨年7月17日の本会理事会に、山桜会々長代行らが来会、以後の山桜会運営に協力するよう要請されました。
○対応不明確で疑心つのる	その後、本会執行部と山桜会会长代行との話し合いは再三行われ、本会より申し入れていた内容に理解を示されたので、文書によって確認

この度重なる山桜会の不誠実極まりない対応に、本会理事会は態度を硬化させ、山桜会の運営に危惧の念を抱き、これ以上協調していくのは本会にとっては無益であると判断し山桜会との分離・独立を決定して、会則を次のように改正しました。

旧＝本会は追手門学院校友会山桜会の大学部会として、追手門学院大
学校友会将軍山会と称する。

新＝本会は追手門学院大学校友会将軍山会と称する。

なお、新会則（第一条・第一項）を
昨年11月6日の本会総会で公表し、
同日付けで、山桜会にも文書通告し
右会則の発効は59年4月1日で、当
分の間、山桜会の状況を静観する旨
を伝えました。

組織的にも規模的にも、この傾向による会員数の差は、今後ますます大きくなるといえます。

今回、山桜会より本会を分離・独立させることにより、より大きく飛躍し、大学開学二十周年を迎えると考えております。

今回の措置は、一部の人々による独断運営の山桜会に対し、危機感を持つての措置であり、分離・独立こそ母校のために、より責任をもって対応していくためのものであると確信しています。

○お願い

今回の分離・独立について、ぜひとも会員諸兄姉の御意見を拝聴いたしたいと存じます。

来る、3月15日までに、御意見を封書で、氏名明記の上、本会事務局

開学20周年
記念事業委員会委員募集

大学開学20周年記念事業に取組む
本会は、広く会員諸兄姉から、委員
を募集いたします。

学部・学科・卒業年次・部活動等
については問いません。自発的に積
極的に、開学20周年記念事業を企画
し実行して下さる会員は、どなたで
も御応募下さい。

来る3月31日までに、本会事務局
あてに、氏名・住所・電話番号・勤
務先・勤務先電話番号・それに必ず
会員番号(封筒宛名下の番号)とをハ
ガキに御記入の上、御応募下さい。
折返し、第一回委員会の日時・場所
などを、お知らせいたします。

二 論 二 心 項



發行者
西西安威2—1—15
門学院大学校友会

軍山会
5-43-5421 内線337

編集者
長蟻柴潤一
© 1984

――お願い――

- 短信・近況・思い出・想うこと等ご多忙でしうが 原稿をお寄せ下さい。
- 住所変更のときは ハガキで至急お知らせ下さい。
- ご結婚されるときは 訝電を打ちますのでお知らせ下さい。

和60年3月30日
追手門学院大学校友会將軍山会報

管することとはできません。小さいことです、が、本会では、会員が結婚されるときは祝電を打ちます。山桜会には、その制度はあります。小学校も中高校も最終学校ではないからでしょう。会員もそれを望まないです。

本会は、会員が卒業後、直ぐ社会人になる以上、まず第一に、会員の動向を十全に把握する必要があります。そのための会員原簿の完備は、極めて大切です。今も、大学在学生が一生懸命に、新会員の名簿原簿カードを記入・整理し、住所変更をし、誤りの少ない原簿の作成に毎日数時間を費しています。

第二は、会報の発行です。特に、大阪を離れている会員に喜ばれるのが会報です。会報編集も、より工夫し、回数も増したいのが、本会役員のねがいですが、なかなか思うようにはまいりません。

第三は、体育会OBU連合のような団体や地域・職域支部を作ることでしょう。他大学では、支部組織を固めています。地域・職域支部のある大学でも運営に困っているところも

会員と役員の関係

4回生保護者各位 昭和59年9月17日
追手門学院大学

校友会終身会費の徴収についてのお願い

学では 大学卒業生全員に依って組織されている校友会将軍山会の終身会費の徴収を在
生の自治組織である学友会と連合委員会の同意を得て 事務局会計課が 50年度より
っております。
封の別紙の振込用紙をご使用の上 後期授業料と共に お納め下さるよう お願い致します。

本会は、昨年4月1日をもつて
独立したことを、内外に発表しま
た。独立は、私たち大学校友会が
き抜ける道であり、崩れない道で
ると確信しています。

できることではありません。

回生保護者各位

昭和59年9月17日

校友会終身会費の徴収についてのお願い

学では 大学卒業生全員に依って組織されている校友会将軍山会の終身会費の徴収を在生の自治組織である学友会と連合委員会の同意を得て 事務局会計課が 50年度より行っております。

封の別紙の振込用紙をご使用の上 後期授業料と共に お納め下さるよう お願い致します。

友会について

追手門学院大学校友会將軍山会

校友会終身会費について 前文の通りその収納事務を 大学事務局会計課にお願いし
計管理を委託しておりますが ここでは 主として校友会についてご説明いたします。
本学の卒業生全員で構成している校友会が將軍山会であります。將軍山会は 会報の発
その他の事業を行いつつありますので 校友会終身会費として 20,000円をお預りさせ
いただきますことにし、在学生の学友会及び連合委員会の同意を得ております。

さて 校友会将军山会は 会員相互の親睦・母校の発展に寄与することを目的として組
され 卒業されると同時に誰も皆 正会員として登録されます。校友会事務局(後出)
は正会員の個別カードを作成し それを磁気テープに記憶させ その後 住所の変更・
姓・勤務先の変更等のご連絡があれば 直ちに変更の記載をし 名簿を完備して母校の
卒業生であることの保証や問い合わせに応じ また諸種の通信・ご案内や慶弔に際しては
お結婚の場合は祝電を 御弔事の場合は同様に 先輩・後輩の別なく 校友会員としての

現在のところ将軍山会は 基金をふやしその利息をもって学術研究補助・奨学金貸与制度確立を目指して 努力を重ねております。

以上 本会についてのあらましをご説明いたしましたが 特に ご不審の点がおありでしたら どうかご質問下さいますよう 校友会事務局の所在を下に明記いたします。

〒567 茨木市西安威2-1-15
追手門学院大学・1号館・3階・校友会事務局
電話 0726-43-5421

若い大学を育てるの 大学卒業生の団結

にはおられない役員の胸中をお察し
下さい。

編集後記

本会独立に係る

諸問題の御報告

住所変更その他のお知らせはぜひハガキで

本会は、本年4月1日、山桜会と分離し、大学校友会として独立しました。しかしその後も山桜会からの不当な圧力は続きました。この間、本会が受けた傷を、消し去ることはできそうにもありません。ここに、その経緯を簡略にご報告いたします。

現行の山桜会執行部を認めない

山桜会との問題

山桜会との紛争は、会報25号で既報の通りの経緯をたどり、協議を続けてきました。本年1月28日の山桜会理事会において選出された山桜会新執行部が協議に加わってから、山桜会の対応は不誠実極まりないものとなりました。本会が分離・独立を会報で表明した本年2月18日からは何にかにつけて挑発的になってきました。

山桜会の新執行部は、本会が名簿を管理依託している凸版印刷㈱に対しても不当な圧力をかけ、本会が正当に所有する大学卒業生のデーターを一括して停止させたり、弁護士を立てて対処しております。しかし山桜会の変化はなく、都合が悪くなると黙ってしまいます。本会はこれからも強力に対決していく所存です。また凸版印刷㈱や追手門学院との間で来ないようにしたりして、本会に分離・独立させないよう、卑劣な工作をしてきました。

また、本年6月の学校法人の役員改選にからんでも、本会が正当適式に所有する学校法人役員選出の権利

をないがしろにし、山桜会がひとりその権利を所有するように見せかけ、結果的には学校法人役員の枠の中にある大学卒業生の分を山桜会が総て独占してしまいました。山桜会が行なった一連の行動は、卒業生の校友団体がとる行動とは考えられず、一般常識からみても著しく逸脱したものであり、学院、校友会を私物化しようとしていると思われてもしかたがないものであります。

これに対しても本会は、弁護士を立てて対処しております。しかし山桜会は凸版印刷㈱に対する抗議を行なったが、凸版印刷㈱の態度も、長年将軍山会の業務を代行しているにもかかわらず、「本社は山桜会と契約をしており、将軍山会の仕事はしたことがない」と、理解に苦しむ回答をしてきました。本会は再び、厳重に抗議し、協議の結果、本年7月に、通常通り業務を再開するとともに、58年から準備をきていた、会員名簿マスターープの分離も完了いたしました。

これにより、今後山桜会が不当に

圧力をかける意味もなくなり、本会を持って対応しております。

凸版印刷㈱とは、過去長年にわたり将軍山会の会員データー管理、会報発送等を依頼している会社であり、信頼関係にありました。が、本会が分離・独立を表明した本年2月、山桜会会長が本会の業務を妨害する目的で圧力をかけ、会報の発送、会員データー訂正登録がストップし、多大な被害を受け、本会と凸版印刷㈱との信頼関係もぶれさせてしまいました。

本会は凸版印刷㈱に対して弁護士を通じて抗議を行なったが、凸版印刷㈱の態度も、長年将軍山会の業務を代行しているにもかかわらず、「本社は山桜会と契約をしており、将軍山会の仕事はしたことがない」と、理解に苦しむ回答をしてきました。本会は、本会の権利を主張するため、二名の理事の方にお願いをし、山桜会から選出された者のみを役員としていました。

本会は、本会の権利を無視して、山桜会から選出された者のみを役員としていました。

当初は、山桜会、凸版印刷㈱、学

院当局とのそれぞれの交換文書をすべて掲載する予定でおりました。しかし、大学当局からの強い要望があり、要旨のみを掲載することにいたしました。なお、会員各位には閲覧用意が整っておりますので、事務局へご請求下さい。

本会の現状をご理解下さり、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、ご意見、ご質問がございま

純粹に学院、校友を考える本会としては、本年4月1日をもって山桜会と分離したことは良策であり、山桜会が現行の執行部で運営されるかぎり、本会は山桜会を認めるることは出来ません。

凸版印刷㈱との問題

会員名簿磁気テープを分離

本会は、本年4月1日の分離・独立するに際し、追手門学院関係者に問い合わせもありませんでした。本会は学校法人の役員選出について、個々に文書を送って表明しました。しかし、学院当局からは何らの立するに際し、追手門学院関係者に問い合わせもありませんでした。

今後の事業について協議

学院当局との問題

立するに際し、追手門学院関係者に問い合わせもありませんでした。

本会は、本年4月1日の分離・独立するに際し、追手門学院関係者に問い合わせもありませんでした。

今後の事業について協議

学院当局との問題

立するに際